

都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

県民1%以上 が参加

福井県金融広報委員会
渡辺 光江

福井県金融広報委員会では、福井県民に広く知ってもらい、金融機関など委員団体に評価される活動をしたい、という思いから福井県、財務事務所、日銀、金融広報アドバイザーなどと情報交換しながら試行錯誤してきました。

その中で、自治体との共催による大規模講演会、学生の金融機関訪問、幅広い出前講座など新しい活動が生まれてきました。

新しい活動の内容は当委員会のホームページをご覧いただきたいのですが、自治体との共催方式による大規模講演会は、昨年度は4市4町、本年度は4市との共催開催が決まっています。自治体からは有名講師を呼べると好評です。高校・大学生による金融機関訪問は、昨年度は18回、延べ347人が参加しました。学校からはキャリア教育とし

て、金融機関からはCSR活動として大変好評です。出前講座は、金融広報アドバイザーの増員と頑張りにより、参加者が2009年度の3353人から2010年度は6697人に拡大しました。

事務局では、県内の生涯学習センター、老人クラブ、大学・高校などを二つ二つ訪問しながら説明してきました。冬の雪道を歩きながら、いつから外回りの営業マンになったのだろうと思ったこともありましたが、参加者数が県民の1%にまで拡大しているのを見る

と、県民活動として手応えを感じています。

最後に、4月から若い林さんが主担当となりました。新しい感性で更なる発展を期待します。



左が新任の林さん、右が前任の渡辺さん

「知りたい、 学びたいを満たす 講座」を目指して

奈良県金融広報委員会
中尾 美香

ライフプラン、税金、貯金…お金に関するイメージは掴めても、漠然とした不安や疑問は払拭できない、そんな悩みを解決するヒントになれば…と少人数でじっくり学習できる講座を実施しています。

数年前の講座開催当初は、講座の目的を明確にするとの趣旨のもと、子育て世代や中高年世代というように受講対象を絞り込んで開催していました。

例えば、子育て世代の講座では、若い母親世代の方が参加しやすい環境を整えようと、託児ルームを設置するための会場や保育者の確保に努めたり、市内の幼稚園へ手作りのチラシを配布するなど、かなりの手間と時間をかけたものの、受講者数が伸び悩んだのが事実です。

多くの人に興味を持って受講し

てもらえる講座とはどんな講座かと悩んでいたところ、委員会事務局を担当している県消費生活センターの副所長から「対象を絞らずに、お好きな講座をお好きなだけ選べるようにしては。」と助言がありました。時間の縛りが軽減され、興味のあるテーマだけを選択できるカフェテリア方式の講座では、2日間4講座で延べ120名の申込みがあり、思っていた以上に受講者が集まり、成果があったと考えています。

先程も述べましたが、当委員会では、奈良県消費生活センターの中

にあり、センターでは消費者被害を未然に防ぐための啓発活動の一環として講座も数多く開催しており、ノウハウも蓄積されています。

講座は生き物で、同じやり方ですぐに飽きられがちです。センターの啓発担当者に講座を始めイベントの方法を学び、協力を仰ぐとともに、これからも連携して金融広報活動を進めていきたいと考えています。

